



西安編 1 旅立ち

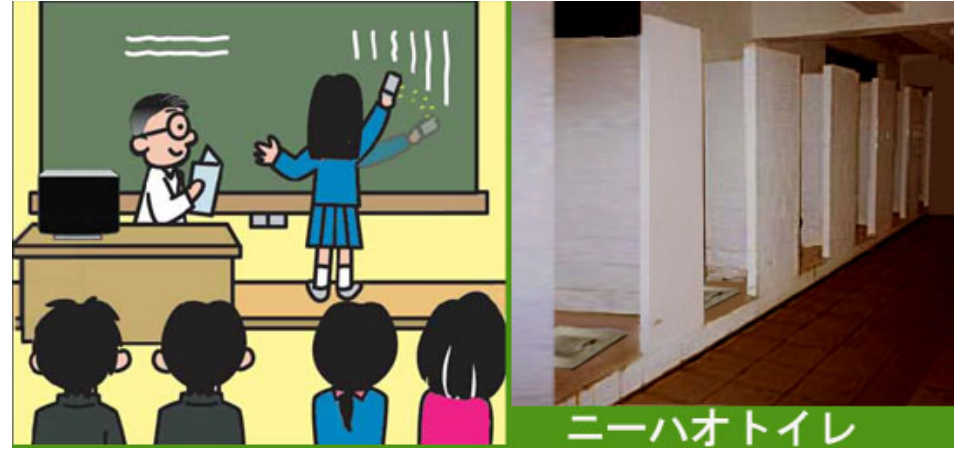


仕事で科学技術論文を書き、カルチャーセンターで小説の作法を学んだ私は、老後に外国人に作文を指導したいと思った。60歳で会社を定年退職してから、一年間、日本語教師養成学校に通った。そして、2004年10月に中国の西安市の長安大学に就職した。私の赴任時、長安大学に日本語科が新設されたばかりであった。

2 長安の都に赴任 現存する城壁は明代に再建されたもの



3 学生との初対面と授業始まる ピカピカの一年生 18人と新米教師の私



黒板消しをする班長の王 教師を尊敬する気風のある中国の学生に感動

赴任早々、二一ハオトイレに驚く。慣れるまで1年かかった。

4 長安の都に琵琶を奏でる飛天



西安音楽院の劉トンと中国語と日本語を教え合うことになった。芸術家肌の劉トンは魅力ある女性だった。

我が宿舎はこの二階にあった↓



5 日本語教師への夢 会社時代を回想し、日本語教師を目指した経緯を紹介 これが我が老後の生き方↓



十歳の頃の我が息子



六十歳の白髪少年

部下への作文添削が日本語教師へのきっかけ

6 長安大学の生活



教え子や外人留学生でにぎわう我が宿舎

ネパール人のグプタとイエーメン人のハリド↓



↑ 私からプライベートレッスンを受けた張春梅もその一人

朋友遠方より来る

元会社の友人の
西安訪問



→劉トンが
琵琶演奏
で接待

琵琶演奏



家内・王（旧班長）・劉（新班長）・私

6' 老後の人生をどう生きようか？ 私の思いは右のエッセイとたまたま類似していた。



「人生八十年の高齢化時代」を「人生二毛作時代」ととらえている。一毛作目は会社で働く時期で、昔は一毛作目で人生が終わってしまうケースが多かった。しかし、今はみんなに二毛作目のチャンスがある。この二毛作目はやりたいことを思う存分やれる時期であり、一毛作目とは別の人生、まったく新しい人生を送ることができる。これは豊かさが生んだ「生き方革命」だといっていだろう。「定年後。こう考えればラクになる」江坂彰 PHP 文庫より

7 作文指導はじまる

自己紹介			
長安大学	1年	20040012	王玉
私は陝西省西安市出身です。家族は、父母と姉と私の四人です。			
父は製菓会社に勤務しております。母は家庭の主婦です。姉は大学を卒業して会社員になりました。			
私の故郷は、自然が美しくとても住みよいところです。ときどき、故郷に帰って家族			

長安大学で二年目、二年生の学生に作文を指導することになった。

作文能力は未熟ながら、18,9歳の学生たちは大人への過渡期にあり、魅力ある内容を書いてくる学生もいた。

作文をつうじて人間的成長への手助けができるのは、遣り甲斐のある仕事だと思う。

8 作文——その1 私の友人

私から作文を酷評されたのに、郷土料理を作ってくれた女学生(中央)





掃き溜めに鶴

11 外国に住むことの難しさ



我が宿舎の寢室に弾痕 (反日デモと関係があるのか?)



12 スピーチコンテストで吃音に悩む学生

「誰でもはじめから話し上手はいない、経験が大切」と激励!



13 日本語教師の就職と解雇

弱い立場の日本語科



会社を定年退職し、すべての肩書を失ってゼロからのスタートだったが、新たな目標に向かって教師養成学校に通う日々が楽しかった。





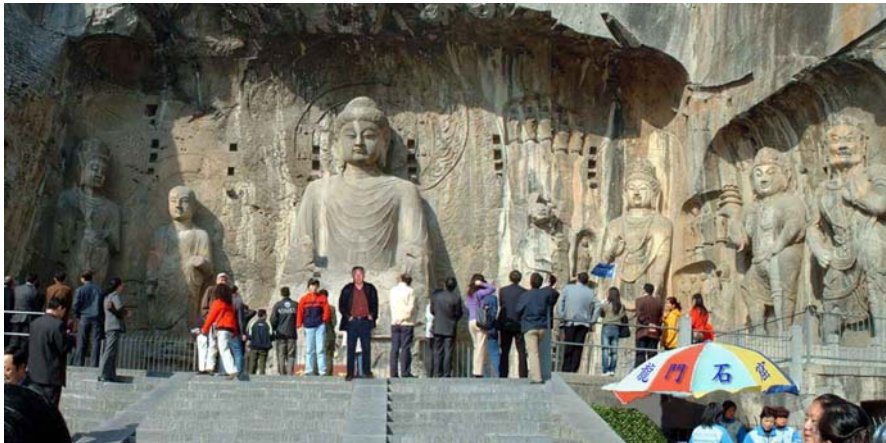
大学正門前の桃と桜

はじめての教え子とは卒業まで共に、と願っていたが、二年で大学を解雇された。異業種の世界に飛び込んだ私は、日本語教師の職探しには、いつも苦労した。



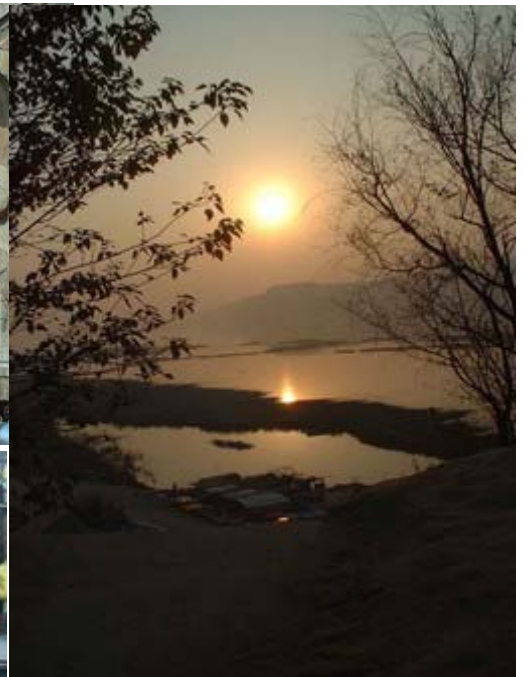
1年生が送別の歌で送ってくれた

【西安からの旅行】



龍門石窟寺院
廬遮那仏（東大寺の大仏のモデルとなった）

炎帝陵（伝説上の皇帝）
製薬会社に勤務していた私は、炎帝を「神農さん」として親しんでいた。



黄河の夕日（水辺には水上生活者の粗末な舟があった）

漢中市 諸葛孔明の墓



孔明が陣没した五丈原



紅の都市延安 毛沢東旧居



黄土地帯の住居はマオトンと呼ばれる



兵馬俑坑

2,200年前のリアリズムの傑作
秦の始皇帝の兵馬俑坑



黄龍
棚田様の池塘が階段状に連なる

無錫編 15 江蘇省無錫市 日本人教師はいつも学生と共に！ 「寄らば大樹の陰」なき田舎教師の私



16 学生の無礼な行動



長安大で吃音に悩む学生は三年生のとき、ｽﾍﾟｰﾁﾝｸﾞｽﾄに出場したことを私に連絡！ 落ちこぼれ児を出すまいとの願いが成就して、嬉しい。



【無錫からの旅行】

無錫蠡湖の西施像

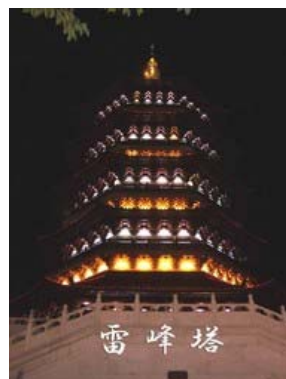
孔子第74代の子孫

南京中山陵 孫文の墓地



杭州市 美人西施のように美しい西湖 (蔣先生との旅、背後に雷峰塔)

上海郊外の水郷地帯 周庄



南昌編 18 江西省南昌市 中国の内陸部にある江西師範大の学生はハングリー精神旺盛で優秀だった

吉安の文天祥

九江の陶淵明

江西省

南昌市 江西師範大学

中国一美しい村 婺源

陶器の里 景德鎮

南昌

八一義記念塔

19 ストレンジャーイン香港 就労ビザ取得のため、深セン、香港への行き方を知らされないままの旅



が、F・シナトラなみに気取ってみた
旅は難行苦行だった



20 江鈴杯スピーチコンテスト

予想に反し、劉カヨウが二年生ながら準優勝した



背の低い学生は演台の上に顔
だけが見えて、口がパクパク



22 詩の世界、四方山話

現地の気候風土に触れながら千数百年前の詩人の心に近づく



武漢市の黄鶴楼と春霞にけむる長江

クリスマス演芸会で漢詩を歌う



道元禅師の和歌

渡邊捷弘の漢詩

その日本語訳

(至難の業である和歌から漢詩への適訳を味わおう)

春は花
夏ほととぎす
秋は月
冬雪さえて
すずしかりけり

爛曼春櫻笑
夏鵲山野青
玲瓏秋月皓
白雪冷冬庭
坐庵觀四季
万象自清冷

爛曼 (らんまん) として 春は桜の花笑い
夏、鵲 (ほととぎす) に山野青く
玲瓏 (れいろう) として秋月は皓 (あき) らかに
白雪は冬の庭に冷たく
庵に坐して四季を觀ずれば
万象自ずから清冷 (せいれい) たり

22 作文における問題意識 中国の学生は子供の頃から、教科書どおり教師の教えるとおりに覚え、自分のオピニオンを持たない。そんな受験勉強の弊害がスピーチコンテストの草稿や読書感想文にも現れている。

(1) スピーチコンテスト

今の中国は40年前の日本に似て激しい公害の最中



優れたスピーチは個性ある
実体験の中から

(2) 読書感想文



子供「なぜ靴だけ魔法が消えないの？」
教師「うるさい、教科書のとおり覚えなさい！」

22 消費者よ強くなれ

私は延長コードが一週間して故障したので、店員に新品と換えるように交渉した。



中国では通常の電気製品で1週間経てば故障しても新品と変えてくれないし、修理もしない。半世紀も前の日本製品が「安かろうまずかろう」だったように、中国の製品にはどこか不良品が多いように感じる。現代日本の工業製品が高品質として世界から高く評価されているのはなぜか？ そのひとつは、消費者が低品質の製品や無責任な商店の態度を許さないからだと思う。私が店員と闘っているのをたくさんの学生が見ていた。思慮深くて逞しい消費者がこの学園の中から生まれ育って欲しい、と願っているのだ。

【南昌からの旅行】

鑑真 日本へ5度の渡航に失敗し盲目となる。ようやく6度目に日本に渡り、仏教の戒律を伝えた。



南京虐殺記念館

陶器の里 景德鎮

中国で一番美しい村 婺源

桂林 (漓江下り)



洞庭湖を望む岳陽楼 (杜甫の「登岳陽楼」で有名)

客家土楼 (堅牢な壁で外敵から守り多くの家族が住む)



宜春温泉 (日本の温泉に負けない情緒あふれる湯舟)



米酒浴・茶浴・金銀花浴・芦荟浴・鶏血藤浴・舒筋浴・美容浴・活絡浴・牛乳浴・飄風雪浴

上海編

27 上海の孤独 学生との心の接点を失った教師は無能者！

中国に来たら一度は住んでみたい街それが上海だったが……



はじめて経験する都会の学生気質

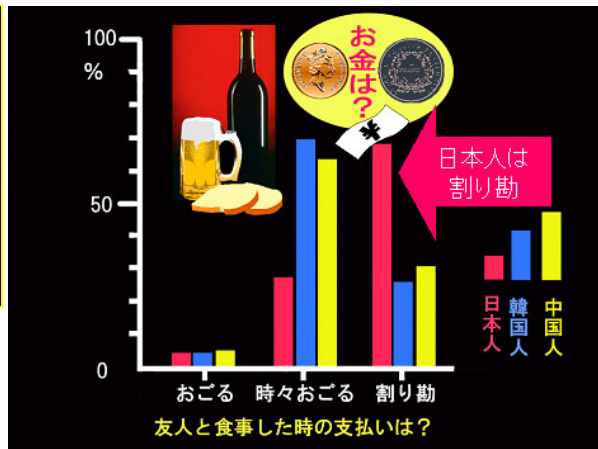


28 異文化コミュニケーション

無意識の行為が自己の文化の影響を受けている。それが、他民族との軋轢に



<学生へのアンケート調査の結果>
日本人は割り勘なのに、中国人と韓国人はおごり合うのが普通



【上海からの旅行】

美味なる絶品の小籠包



↑廬山東林寺

廬山→瀑布





大同市 雲崗石窟寺院 (2)

北京市郊外の房山石経 (千年も続く石経づくりの偉業)



雲南省昆明 29 常春の国昆明市 1,900mの高地にあり、階段をのぼると息切れがした。
 はじめて知る私立大学の実態 (教育理念よりソロバン勘定が優先し、学生や教師を厳しく管理したがる)
 大学生なのに学内禁酒! 教務課と現場の教師 虎の威を借る管理職!



航空運賃の支払いをめぐって大学と争い。ようやく片道切符を手に入れて帰国できた
 だが、年中温暖でコバルトブルーに晴れ渡る昆明は素晴らしい町だった

